洞爺協会病院

リハだより

2022.12.7

発行責任者
今井佑太

No: 1

皆さんこんにちは！洞爺協会病院リハビリテーション科もこれから色々な情報を発信していきます＼(^o^)／
当院のリハビリテーション科には3科あります！
それぞれの科には違いがありますが知っていますか？
それぞれが、専門性を持って携わっていますので、改めて紹介させて頂きます！！

★理学療法士：Physical Therapist →頭文字をとってPT

理学療法士は、「身体づくり」と「生活動作」の専門家！！

・動作に必要な、関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける身体づくり。寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる生活動作。理学療法では病気や障がいがあっても住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいという思いを大切にして行う身体づくり、生活動作のリハビリテーション！

例）

関節可動域訓練　筋力訓練　起居動作訓練　端座位訓練　移乗動作訓練　歩行訓練　etc.

★作業療法士：Occupational Therapist →頭文字をとってOT

作業療法士は、「こころ」と「からだ」の専門家！！

・日頃なにげなく行っていたことや日常の生活動作も実は、こころとからだの複雑な動きでできていて、病気や怪我、心の病などで難しくなったとき、日頃出来ていたことへの大切さに多くの人が気付きます。
作業療法は、障害と向き合い、折り合いをつけながら自分らしさを取り戻すこころとからだのリハビリテーション！

例）

食事　排泄　更衣　入浴　福祉用具自助具紹介　認知機能障害　高次脳機能障害

※子供からお年寄りまで様々に関わっています。

★言語聴覚士：Speech Therapist → 頭文字をとって ST

言語聴覚士は、「話す」、「聞く」、「食べる」の専門家！！

・私たちは、自分の思いを話して相手に伝えます。相手は内容を聞いて理解してくれます。その相互作用による情報伝達がコミュニケーションです。
そして、話すことと密接に関わっているのが食べることです。
言語聴覚療法は、多者とコミュニケーションができることや食べる楽しみを再獲得するリハビリテーション！

参考
・公益社団法人　日本理学療法士協会ホームページ
・一般社団法人　日本作業療法士協会ホームページ
・一般社団法人　日本言語聴覚士協会ホームページ

※各イラストは、OTナガミのイラスト集より